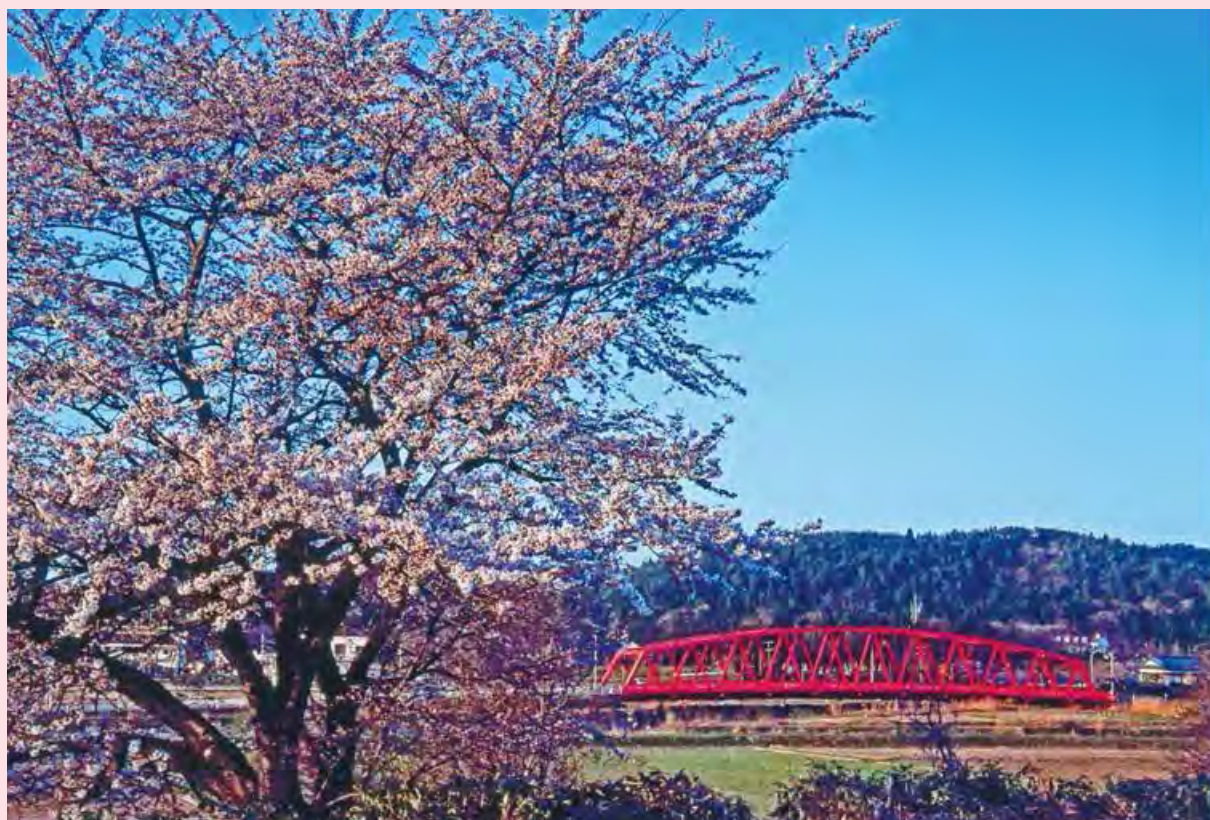


つながる輪 広がる和 にっこり笑顔

愛ある豊浦

～ほっと[🔥]な地域・宝を育てよう!～



写真提供：浪花 徹 氏

豊浦地区福祉懇談会・豊浦地区区長会

新発田市・社会福祉法人新発田市社会福祉協議会

ご あ い さ つ

この度、新発田市と新発田市社会福祉協議会のご協力により、豊浦地区の「福祉活動計画」を策定させていただきました。

地区中心部には国道460号線が通り、月岡温泉、真木山や本田山、福島潟に通じる広大な田園地帯、緑豊かな自然の中、人情あふれる人たちが暮らしております。

本計画の策定に当たり、各地区の区長や役員、各団体、組織、一般の方々に仕事を終えた後や忙しい中、懇談会に参加していただき、あらためて御礼申し上げます。

昨年の10月から、全体での懇談会を3回実施、グループ討議を中心に話し合いを重ね、意見を出しました。その後、編集委員会を経て、まとめたものであります。

この懇談会を通じて、少子高齢化や人口減少、空き家の増加、若い世代が定着しない、一人暮らし等たくさんの問題をあらためて認識することが出来、地域としての連帯感も生まれました。これらを共通の問題としてとらえ、行政側にお願いすること、地域で出来ること、一人ひとりが自らやれること等、具体的に意見を出すことが出来ました。

この福祉活動計画を地域の皆様にご覧いただくとともに、これを機会に、より議論を深め色々な意見を出し合い、実践につなげていければと願うところです。



平成 28 年 3 月

豊浦地区区長会 会長 嶋津 久志

目 次

1	地域伝言板	
	(1) 豊浦地区の歴史と特色	1
	(2) 豊浦地区の魅力	3
2	計画の概要	
	(1) 豊浦地区福祉活動計画とは	5
	(2) 豊浦地区福祉活動計画の目的	5
	(3) 豊浦地区福祉活動計画の推進に向けて	5
	(4) 豊浦地区福祉活動計画づくりの意義	6
3	地域の魅力と現状	
	(1) 地域の魅力について	7
	(2) 地域の現状について	7
4	福祉活動計画	
	(1) 基本理念(スローガン)	8
	(2) 基本目標	8
	(3) 計画の実現に向けて	9
5	策定方法	
	(1) 豊浦地区福祉活動計画策定団体等	11
	(2) 豊浦地区福祉活動計画策定経過	11
	(3) 豊浦地区福祉懇談会で出された意見	12
6	参考資料	
	「新発田市地域福祉(活動)計画」の基本理念と体系	19
	豊浦地区福祉懇談会回覧	21



1 地域伝言板

◆◆◆ 農業・歴史・観光 ◆◆◆

豊かな自然・あたたか人情の **豊浦地区**

● (1) 豊浦地区の歴史と特色 ●



豊浦地区の花
あじさい



豊浦地区の木
梅

豊浦地区の主な農産物



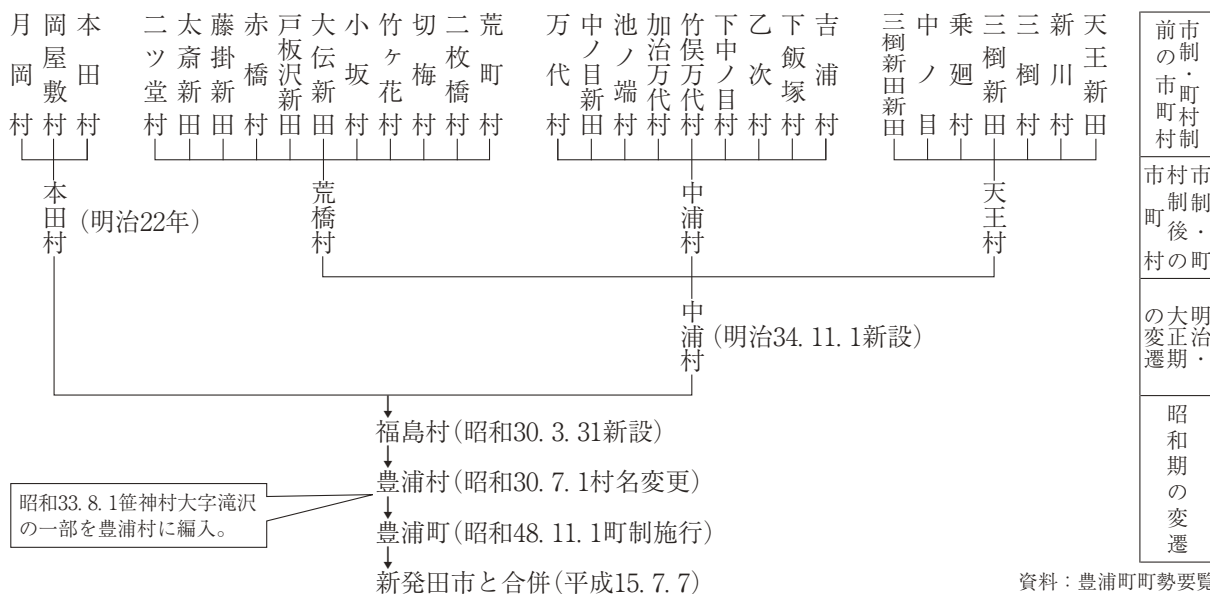
米 なす おくら えのき 梅

豊浦の起源 東大寺領豊田荘 (旧豊浦町)

昔、現在の豊浦地区の大部分は、奈良の東大寺の荘園になっていて「豊田荘」と呼ばれていました。戦後、東大寺の文書が公開されてから研究が進み、徐々に明らかになってきました。豊田荘の範囲については、関係する学者の中で佐々木川の位置を巡っていろいろな説がありました。結局、現在の太田川が佐々木川であるという説が有力になっています。小さな荘園の豊田荘は狭い地域であっても平地が多く「豊田」の名のとおり豊かな田に恵まれていました。昭和30年に中浦と本田の両村が合併し新しい村名を豊田荘の「豊」福島潟の湖岸の地を表す「浦」の組み合わせにより「豊浦」としました。

資料：豊浦ふるさとかるた（田村光雄著）抜粋

旧豊浦町の変遷





豊浦保育園

豊浦中学校

新発田南高等学校豊浦分校

◆◆◆豊浦各地区の特色◆◆◆

《荒橋地区》

■市街地への交通網が整備されつつある

工業団地が造成されるとともに、広域的ネットワークを形成する国道7号や国道290号などへのアクセス道路の整備が進められ、利便性の高い地区となっています。

■新たな住宅地と古くからの集落が共存している

地区の一部で市街化区域が設定されており、ほぼ宅地化されています。市街化調整区域では、道路沿いに線的に形成された集落が点在しています。

■豊かな自然が残されている

地区には、太田川や天辻川などの豊かな自然環境が残されています。



荒橋小学校

《中浦地区》

■豊浦地域の住民サービス機能が集積している

豊浦支所から真木山中央公園にかけて、教育・文化・スポーツ施設が集積する住民サービス拠点が形成されています。

■既存集落が点在している

中浦小学校から豊浦支所にかけては、大規模な既存集落がありますが、その他は道路沿いに線的に形成された集落が点在しています。

■豊かな自然環境が残されている

真木山や太田川、芋卸江川、松岡川などの豊かな自然環境が残されています。



中浦小学校

《天王地区》

■古くからの歴史を感じさせる街なみ景観が残されている

月岡駅周辺の工業地と既存集落からなる市街化区域が設定されています。市街化調整区域は、道路沿いに線的に形成された集落が点在しています。

既存集落は歴史ある農村集落で古くから歴史を感じさせる趣のある街なみ景観が残されており、貴重な歴史的資源である市島邸は地区のシンボルとなっています。

■豊かな自然が残されている

地区には、福島潟や大通川などの豊かな自然環境が残されています。



天王小学校

《本田地区》

■観光保養地が形成されている

月岡温泉を核とする市街化区域が設定されており、一部で一団の未利用地が残されています。市街化調整区域は、道路沿いに線的に形成された集落が点在しています。

月岡温泉は、月岡カリオンパークやゴルフ場などのレクリエーション施設や温泉を活かした福祉施設の集積もみられ、滞在型の観光保養地が形成されています。

■豊かな自然環境が残されている

真木山や本田山などの丘陵樹林地や本田川、荒川、奥右衛門川などの河川、さらに特に貴重な緑地である水芭蕉の群生地などの豊かな自然環境が残されています。



本田小学校



● (2) 豊浦地区の魅力 ●

◇◇◇ 豊浦あれこれ ◇◇◇

◆豊浦ふるさとかるた

豊浦地区の歴史や産業、人物を題材にした「豊浦ふるさとかるた」は、元小学校教師の田村光雄さんが作成しました。地区内の小中学校に寄贈されています。五七五の読み句は田村さんが考え、絵札を地元小中学生が手掛けた世代を超えたコラボ作品として新潟日報にも紹介されました。豊浦地区郷土資料講座「豊浦ふるさとかるた」も開催されました。



◆月岡温泉 美人になれる温泉 ♨

大正4年「月岡温泉発祥ノ地」の石碑付近の石油掘削中の井戸から50度を超える湯が湧き出た。本間周三郎氏がそこに共同浴場を建てたのが始まりと言われています。含硫黄ナトリウム塩化物温泉。透き通ったエメラルドグリーン色で美肌効果があります。



◆真木山中央公園

東京ドームの3倍という広大な敷地。「ピクニック広場」「ちびっこひろば」「わんぱく冒険の森」など様々なエリアがあります。



◆御用窯の小坂焼

初めて小坂(旧豊浦町)に窯が開かれたのは、寛政8年(1796)のことでした。文政4年(1821)には、藩窯としての体制を強化し、瀬戸師新助・伝次兵衛の両名に真木山藩有林の薪15尋ずつを渡し、その代りに茶碗1,250個ずつを無代で上納させました。小坂焼は、新潟地震で窯が壊れるまで続きました。(資料：城下町新発田400年のあゆみ)

◆滝沢の ミズバショウ群落

市の天然記念物指定。毎年3月下旬から4月上旬が見頃で、ホテルが生息するなど自然環境が良いです。



◆月岡カリオンパーク

全国100箇所の「恋人の聖地」のひとつに認定されており、若いカップルやご夫婦におすすめです。



◆天田昭次氏(刀剣作家 人間国宝・名誉市民)

昭和2年に旧本田村(豊浦地区)にて出生。小学校卒業とともに、父と同じ作刀の世界に入ります。そして鎌倉時代の刀を追及するうちに、材料である鉄から作り出すことを決意。以後、現代刀界で最も権威のある展覧会で最高賞である「正宗賞」を3度も受賞したほか、数々の名刀を製作してきました。平成9年には、重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定されるとともに、豊浦町名誉町民の称号を授与。平成15年に豊浦町と新発田市が合併し、新発田市名誉市民の称号を授与されました。



平成25年6月26日逝去(満85歳)

～主なお祭り～

◎本田祭り(熊野神社) 4月24日・25日



本田地区の一本松集落にある熊野神社は約1万㎡もある広大な境内の高台に立っています。明治42年国の土地だった本田山を譲り受け、大正4年に近くにあった13の神社をひとつにまとめたものです。祭礼は4月24、25日に行われ露店も出て賑やかです。24日は宵宮の宮入行事から盛大に行われます。花火も打ち上げられ、屋台、子供神輿があり、舞殿には大和舞、十二舞などの太夫舞が奉納されます。

◎天王祭り(須佐之男神社) 7月4日・5日



「須佐之男神社」の額がかかっている拝殿に須佐之男を奉り、「天王神社」の額がかかっている拝殿に奇稲田(くしなだ)姫を奉った珍しい神社。鳥居も前後に二つ存在します。地元の人からは天王神社として親しまれています。7月4日が宵宮、5日が本祭り、6日が後祭り。この地方では、初なりのキュウリは必ず天王様に供えてから食べることにしています。祭礼にはたくさんのキュウリが奉納され、梅雨期で雨がつきもので「行こうか行くまいか天王の祭、行けば帰りに雨が降る」など歌われています。4月20日は太々祭り。

※各地域でも氏神様のお祭りが開催されています！

◆月岡動物園 ～なつかしいなあ～

キリン、ライオン、ゾウなどの大型の草食動物が豊富で、350種類2500匹の動物が飼育されていました。動物園自体は、石油開発事業の際に持ち込まれた動物を保護するための施設として昭和34年に開園しました。開園後、県内外から多数の観光客で賑わいました。隣接地には、のちに遊園地「月岡ランド」も開園し、月岡温泉の基幹的な観光施設として親しまれました。月岡動物園は民営ながら新潟県内で唯一の動物園でしたが、経営難等で平成元年、30年の歴史の幕を閉じました。



◎月岡温泉「どんと祭り」

雪と炎の中で千客万来を祈願します。

たいまつランナーが温泉街を駆け抜け、下駄リンピックや各旅館の美食鍋販売など楽しいイベントが満載の祭りです。

～福祉、教育関連施設～

◎保育園

・昭和22年児童福祉法制定。私立保育園として昭和32年翠松保育園、34年月岡保育園、35年天王保育園、36年本田保育園、40年には荒橋保育園が開設されました。昭和47年町立保育所として荒橋保育所を新設。48年本田保育所、51年天王保育所、53年中浦保育所を開設。平成12年豊浦保育園としてまとめ中浦小学校隣に建てられました。

◎小学校

- ・中浦小学校(明治6年設置)
- ・天王小学校(明治7年設置)
- ・荒橋小学校(明治6年設置)
- ・本田小学校(明治7年設置)

◎中学校

本田中学校(昭和22年設置) → 豊浦中学校
中浦中学校(昭和22年設置) (昭和50年4月統合新設)

◎新潟県立新発田南高等学校豊浦分校

昭和23年6月1日 新発田商工高等学校中浦分校として創立
昼間定時制高等学校、4年で卒業

◎豊浦地区公民館(昭和61年開館)



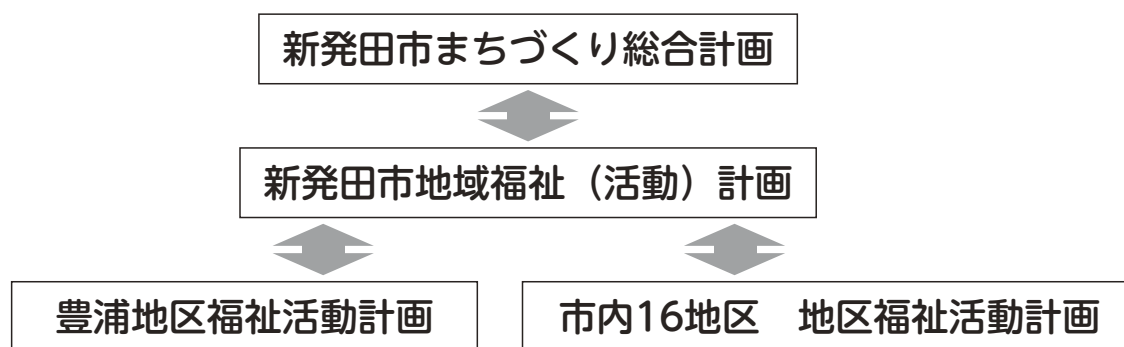
2 計画の概要

● (1) 豊浦地区福祉活動計画とは ●

少子高齢化社会を迎え、社会全般が大きく変化している中、行政への市民要望は年々増大していますが、一人ひとりに適したきめ細かなサービスを行政だけの力で提供することは困難になっています。このため、市民が自立した生活をめざし、地域での福祉を「支え合い」によるシステムという新たな視点で再構築し、維持していく仕組みをつくりあげることが重要となっています。

新発田市は「まちづくり総合計画」の中で、目指すべき将来都市像を「住みよいまち日本一 健康田園文化都市・しばた」としています。その基本理念の下に、新発田市地域福祉（活動）計画は、「しばたに住んで良かった。」と市民が言えるよう、地域において市民や福祉関係者、社会福祉協議会、行政、関係機関が相互に知恵を出し、力を合わせながら、高齢者や障がい者など支援が必要な市民が地域で安心して生活を送ることができる“共生社会”の実現を目指しています。

「豊浦地区福祉活動計画」は、地域の中で問題となっていること、困っていることなどを「地域みんなの問題」として捉え、話し合い、取り組んでいくための指針であり、「新発田市まちづくり総合計画」、「新発田市地域福祉（活動）計画」に基づいた計画です。



(順次策定しています。)

※地域福祉とは、「適切な地域を単位として」「地域住民が主体となり」「地域課題の解決に向けて」「自治会と行政なども含め」「お互いに知恵を出し合い」「支え合っていく」ことです。

● (2) 豊浦地区福祉活動計画の目的 ●

豊浦地区に対する想いを語り合うことを通して、「地域の現状や課題」、「地域でできること」、「自分でできること」、「こうなったらいい」などを一緒に考え住民主体の地域福祉づくりを市民や福祉関係者、社会福祉協議会、行政、関係機関などと連携して進めていきます。高齢者や障がい者など支援の必要な市民が地域(豊浦地区)で安心して生活できる“共生社会”の実現をみんなで目指します。

● (3) 豊浦地区福祉活動計画の推進に向けて ●

計画づくりの過程を通じ、みんなで同じ方向を向いて協働していくために、地域の課題や目標を共有しましょう。その上で、豊浦地区の中長期的な目標として位置づけ、市民や福祉関係者、社会福祉協議会、行政、関係機関などが連携して取組を進めていくことが重要です。

● (4) 豊浦地区福祉活動計画づくりの意義 ●

豊浦地区福祉活動計画を地域の人々で作ることで

- ① 地域の課題や目標を関係者で共有し、同じ方向を向いて**協働**することができる。
- ② 計画を公表することで、地域の福祉活動について、広く地域住民の**理解**と**協力**が得られる。
- ③ 中長期的な見通しを持って、**段階的・継続的**に取り組んでいくことができる。
- ④ 活動の**優先順位**や**重点**がはっきりする。
- ⑤ 活動がうまく展開されてきたか振り返り、次の**課題**を明らかにすることができる。
- ⑥ 計画づくりの過程で人が育ち、地域の関係者の**連帯**も強くなる。

みんなで作る豊浦地区福祉活動計画





3 地域の魅力と現状

豊浦地区福祉懇談会で見てきた地域の魅力と現状

豊浦地区に住んでいる子どもから高齢者まで、すべての住民が地域においていきいきとした生活を送ることは豊浦地区住民のみんなの願いです。

この願いの実現に向けて、市民や福祉関係者、社会福祉協議会、行政、関係機関などが協働しながら、みんなで豊浦地区福祉活動計画を策定しました。

計画策定の具体的作業として、平成27年10月～平成27年12月まで3回にわたり福祉懇談会を開催し、地域の現状や福祉に関わる様々な課題について、話し合いをまとめました。

● (1) 地域の魅力について ●

- ① つながりについて
 - ・高齢者のつながりの場がある
 - ・あいさつが良い
 - ・声をかけあう習慣がある
 - ・野菜などおすそ分けの習慣がある
 - ・人情が厚く、隣近所のつきあいの良い人が多い
- ② 地域活動について
 - ・団結力がある
 - ・地区の共同作業がある
 - ・昔からの行事を継続している
 - ・高齢者の方々が地域行事に協力的である
 - ・年代問わず参加できる運動会がある
- ③ 社会資源について
 - ・温泉や市島邸など観光地がある
 - ・民生委員や保健自治会などの活動が活発である
- ④ 地域性について
 - ・自然が美しい(四季を感じる)
 - ・災害が少なく、治安も良い

● (2) 地域の現状について ●

- ① つながりについて
 - ・孤立傾向の世帯がある
 - ・昔のような茶飲み話をする場所がない
- ② 地域について
 - ・未婚者が多くなっている
 - ・一人暮らしが増えてきている
 - ・熊や猿が出没するので危険である
 - ・空き地や空き家が増えてきている
- ③ 生活について
 - ・公共交通機関が少ない
 - ・小売店が少ない
 - ・子どもの遊び場が少ない
 - ・医療機関が少ない
- ④ 後継者不足について
 - ・子どもが少なくなっている
 - ・若い人が少なくなっている
 - ・地域の担い手が少ない

4 福祉活動計画

豊浦地区福祉活動計画

● (1) 基本理念(スローガン) ●

豊浦地区に住む住民一人ひとりが地域活動に積極的に関わり、お互いが個人として尊重しあい、生きがいや充実感をもちながらその人らしい生活ができることを目指していくことが大切です。こうしたことから次のとおり計画の基本理念を定めました。

つながる輪 広がる和 にっこり笑顔

愛 ある豊浦

～ほっとな地域・宝を育てよう!～



● (2) 基本目標 ●

福祉懇談会で話し合われた地域の現状や福祉課題に基づき、計画の基本目標を次のとおりとしました。

基本目標 1	高齢者に優しい地域
基本目標 2	安心して暮らせる地域
基本目標 3	近所のつながりがある地域
基本目標 4	豊浦の宝を活用した地域
基本目標 5	子どもや若者がたくさんいる地域



● (3) 計画の実現に向けて ●

目標達成の具体的な取組の例

福祉懇談会では
 → **自分達でどんなことができるのか**
 アイディアを出し合いました。



- ◆基本目標 = こんな地域であつたらいいな
- ◆実施項目 = 私たちにできること(取組の例)

基本目標 1 高齢者に優しい地域

目 標		実施項目(取組の例)
1	助け合い、暮らしやすい地域を作ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・顔の見える関係づくりをする ・あいさつ運動の実施 ・一人暮らし高齢者へ声かけや見守りを行う ・介護予防教室、健康教室を開催する ・高齢者に相談先を周知する
2	いつでも頼れる地域を作ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通をみんなで考える ・助け合いを意識し、つながりを大切にする ・行事に積極的に参加する

基本目標 2 安心して暮らせる地域

目 標		実施項目(取組の例)
1	安心・安全な地域を作ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・見回り、声かけを積極的に行う ・子どもの登下校時の見守りを行う(あいさつ運動など) ・自主防災活動の推進を行う

基本目標3 近所のつながりがある地域

目 標		実施項目(取組の例)
1	つながりのある地域を作ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・顔を合わせたらあいさつをする ・ちょっと顔が見えない時は家に行ってみる ・回覧板は一声かけて渡す ・近所への声かけを行う ・子ども達へあいさつ運動を行う ・地域のことに関心を持つ

基本目標4 豊浦の宝を活用した地域

目 標		実施項目(取組の例)
1	地域資源を活用した地域を作ろう ～農・工・商・観光の連携～	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな自然を守り、観光資源を活用する ・農業などの体験型のイベントを通じて地域の活性化を図る ・豊かな自然・観光・文化をアピールしよう ・クリーン作戦をみんなで活発にやろう ・道路に花を植える(植栽活動) ・花いっぱい運動の推進
2	人が集まる住みやすい地域を作ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・自分から進んであいさつをする ・自分のできることを無理なく進んでやる(見守りや声かけなど) ・ボランティア活動を多くして盛り上げていく
3	人(宝)が育つ地域を作ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・誰とでもあいさつをしよう ・地域行事を計画し、積極的に参加しよう ・学校行事等の参加や協力を行う ・伝統文化の継承

基本目標5 子どもや若者がたくさんいる地域

目 標		実施項目(取組の例)
1	若者が集まり定住する地域を作ろう ～独身の若者ガンバレ!～	<ul style="list-style-type: none"> ・独身者の出会いの場を考えよう ・参加型のイベントを開催しよう ・情報交換できる場に積極的に参加しよう
2	子どもが大勢いるにぎやかな地域を作ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・真木山フェスティバルの復活を検討する ・子ども会、バーベキュー、運動会などのふれ合える場づくり ・子どもみこしやくりかけ(栗柿)年始など地域行事を大切にす



5 策定方法

(1) 豊浦地区福祉活動計画策定団体等

豊浦地区福祉活動計画は、豊浦地区区長会を中心に自治会・町内会代表、民生委員児童委員や主任児童委員、保健自治会、老人クラブ、小学校PTA、医療法人豊浦病院、新発田西地域包括支援センターなどの人達が福祉懇談会を開催し、地域の現状及び課題を把握して、基本目標、具体的な取組事例として策定しました。

■豊浦地区

1	蛇塚	14	動木橋	27	天王
2	上荒町	15	横堀	28	三ツ樹
3	下荒町	16	大伝本村	29	福島
4	太斎	17	大伝新道	30	乗廻
5	久保	18	下中ノ目	31	興野
6	佐々川	19	中ノ目新田	32	上本田
7	小坂	20	乙次	33	下本田
8	赤橋	21	下飯塚	34	八万
9	切梅	22	吉浦	35	中之通
10	二ツ堂	23	大沢	36	岡屋敷
11	竹ヶ花	24	竹俣万代	37	月岡
12	池ノ端	25	加治万代	38	月岡温泉
13	戸板沢	26	万代	39	滝沢

- 豊浦地区区長会
- 自治会・町内会代表
- 民生委員児童委員
- 主任児童委員
- 保健自治会
- 老人クラブ
- 小学校PTA
- 医療法人 豊浦病院
- 新発田西地域包括支援センター
(豊浦地区担当)

(2) 豊浦地区福祉活動計画策定経過

年月日	会議等	内容
平成27年7月8日	打合せ (豊浦支所)	・地域福祉懇談会について 豊浦地区区長会役員と事前打合せ (参加者13名)
平成27年7月14日	豊浦地区区長会 (豊浦支所)	・豊浦地区福祉活動計画について説明 (参加者40名)
平成27年9月1日	第1回 豊浦地区福祉懇談会開催案内 回覧	
平成27年10月6日	第1回豊浦地区福祉懇談会 (豊浦地区公民館)	・「豊浦地区福祉活動計画」勉強会 ・グループワーク1 ①私たちの地域のいいところ ②身近なところで困っていること ③こんな地域であったらいいな ④私たちにできること ・グループ発表 (参加者71名)
平成27年11月2日	第1回 豊浦地区福祉懇談会 実施報告 回覧	
平成27年11月11日	第2回豊浦地区福祉懇談会 (豊浦地区公民館)	・グループワーク2 前回の振り返り及びまとめ 地区の現状と課題の整理 計画の基本目標の検討 ・グループ発表 (参加者67名)
平成27年12月1日	第2回 豊浦地区福祉懇談会 実施報告 回覧	
平成27年12月9日	第3回豊浦地区福祉懇談会 (豊浦地区公民館)	・グループワーク3 前回の振り返り及びまとめ 基本目標の検討 スローガンの検討 ・グループ発表 (参加者53名)
平成28年1月5日	第3回 豊浦地区福祉懇談会 実施報告 回覧	
平成28年1月13日	第1回編集委員会 (豊浦地区公民館)	・豊浦地区福祉活動計画の基本理念、基本目標などの検討 (参加者15名)
平成28年2月4日	第2回編集委員会 (豊浦地区公民館)	・豊浦地区福祉活動計画の目標に向けた実施項目などの検討 (参加者15名)
平成28年2月23日	第3回編集委員会 (豊浦地区公民館)	・豊浦地区福祉活動計画(案)修正・確認等 (参加者16名)
平成28年3月	・豊浦地区福祉活動計画完成	

● (3) 豊浦地区福祉懇談会で出された意見 ●

グループに分かれて、地域の現状や課題を共有し、地域の皆さんで支え合いの知恵を出し合いました。懇談会で皆さんが話し合われた意見をご紹介します。（グループごとに掲載しています）

1 私たちの地域のいいところ

- ・自然が美しい
- ・不審者が少ない
- ・のどかで平和
- ・大きな災害がほとんど無い
- ・人情が厚く、隣近所のつきあいの良い人が多い
- ・町内顔見知りであいさつができる
- ・治安が良い
- ・小中学生に声かけをしていると高校生もあいさつをしてくれる
- ・特に高齢者の皆さんが地域行事に協力的です
- ・新々バイパスへのアクセスが良い
- ・温泉（観光地）がある
- ・あいさつをよくしてくれる
- ・人間性＝やさしい人が多い
- ・高齢者の言葉が暖かい
- ・観光地（温泉、市島邸…など）がある
- ・不審者情報で警察が動いてくれる
- ・団結力があります
- ・近所、仲良し
- ・ご近所同士が比較的仲が良い
- ・地域の人は全員わかる
- ・子どものあいさつが良い
- ・顔を合わせると“こんにちは”“おはよう”“なじらね”とあいさつをする
- ・高齢者が元気である
- ・自然の中で生活できて良い
- ・自然がいっぱいあり、すばらしい
- ・米どころ
- ・おいしいお米がたくさんとれる
- ・災害に強い所（特に地盤が良い）
- ・災害が少ない
- ・月岡温泉があること
- ・野球場があること
- ・生活環境が良い
- ・買い物に行くのが近くて助かる
- ・往診に一生懸命な先生（医者）がいること
- ・受け入れやすい地域性
- ・自然が豊かであること
- ・自然の美しい所が多い
- ・夕日がとても美しい
- ・あいさつが良い
- ・子ども達のあいさつが良い
- ・小学生が元気にあいさつをしてくれる
- ・地区の小学校、中学校に地域の人は協力的
- ・地域の子ども達、朝のあいさつは気持ちがいいです
- ・近所づきあいがある（野菜など頂ける）
- ・人とのつながりが温かで割とうまくいっている
- ・地域の結束力が高い
- ・地域のつながりが濃い
- ・仲間グループがいくつかある（飲み会、旅行）
- ・情報の共有
- ・高齢者のつながりの場がある（老人クラブ・二十日待講（念佛））
- ・水芭蕉がきれいに咲くところがある
- ・温泉の足湯がとってもいいです
- ・医療・福祉の体制が整っている
- ・蛍が飛んでいる
- ・野鳥が飛んでいる
- ・市島邸がすてき





- ・毎年区民運動会が開かれている
- ・地域全体で運動会をやっています
- ・地域の婦人、春と秋に集まる機会がある
- ・地域の行事がある
- ・1月の賽の神
- ・地域事業バーベキュー
- ・地域でバーベキュー、子どもは無料
- ・周りの環境が良い、のどか
- ・スクールゾーン、車の量が少ない（安全）
- ・コンビニが近くにある
- ・近くにコンビニができて何かと便利
- ・隣組のつながりが強い
- ・隣近所のつきあいが多い
- ・隣近所のつながり（助け合い）
- ・近所の人が野菜をもって来てくれる
- ・地域の人とつきあいの良いところ
- ・小学校が立派
- ・細々ながら子ども会の活動が続いている
- ・地域の子どもがあいさつをしてくれる
- ・平たんで自転車移動が楽
- ・市街地に近い
- ・駅、大型スーパー、南バイパスが近いところ
- ・ごはん（米）がおいしい
- ・温泉が近い
- ・自然災害のおそれ比較的少ない
- ・平たんで坂道が少なく高齢者にやさしい土地
- ・何かあれば声をかけあう習慣がある
- ・美人になれる温泉がある
- ・温泉がある
- ・温泉が近所にある
- ・戸数が少ないため全世帯の家族構成を把握できる
- ・最近子どもが増えた
- ・子どもが多いところ
- ・子ども達があいさつをしてくれる
- ・地区の方と大体皆さんあいさつをする、してもらえる
- ・四季を感じることができる
- ・緑が多くて、静かで住みやすい
- ・優しい人が多い
- ・地区の住民同士のつながりが強い
- ・地区の住民全員が顔見知り
- ・高齢者の方々の情報が早く伝わってくる（口伝えで）
- ・お年寄りが元気で毎週集まって話をしている
- ・地区の共同作業
- ・水がおいしい
- ・自然が多くてのどか
- ・おいしい農作物ができる
- ・回覧板をまわす時にいつでもあいさつをしてくれる
- ・近所の家の事情が大体わかる
- ・「最近姿が見えない」など近所の方々が気にかけている
- ・通学の子も達のあいさつが良い
- ・昔からの行事が継続されている（賽の神など）
- ・隣近所と仲が良い
- ・年代問わず参加している運動会がある
- ・水田が豊かで静かな所である。
- ・地域の各組が決まっていた係をシステム化している（育成会、老友会、婦人会他）
- ・小学生があいさつしてくれる
- ・集落員に連絡がつくのが早い（地域面積が小さい）
- ・ご近所から季節の野菜を常にいただける
- ・野菜など多くできたら知っている人に分けたりする
- ・一人暮らし高齢者世帯など、民生委員さんが見守りをしてきている
- ・水田や山林に囲まれ緑が多く、自然環境が良い
- ・支所が近いので、すぐ連絡や打合せができる
- ・葬儀などの助け合いがある
- ・保健自治会
- ・にこにこ会（70歳以上の方）
- ・老人クラブ、婦人会、農家組合



2 身近なところで困っていること

- ・ 独身の方が多い
- ・ 一人暮らしの人が増えてきて草が茂っている
- ・ 交通量が多くなり危ない、スピードを出して車が通る
- ・ 全員数不足
- ・ 一人暮らしが増えている
- ・ 子どもが少ない
- ・ 冬の通学路の除雪（歩道）がされていない
- ・ 世帯数の減少
- ・ 若い人が少ない
- ・ 空き地が年々増えてきた
- ・ 子どもが少なくなってきた 元気な声が聞こえてこない
- ・ コミュニティバスが通っていない
- ・ 交通機関が少ないというより無い
- ・ 荒橋学区、小、中学校2校ずつ通学しており、子どものつながりが希薄になるのではと心配
- ・ 未婚者で親亡き後の一人暮らしが多くなっており、地域とのつながりもなく孤立傾向にある
- ・ 若年層だけでなく成年者の引きこもりもいる
- ・ 空き家が多くなっている
- ・ 個人情報保護の壁がある
- ・ 地域の集会で若い人達の出席が少ない
- ・ 高齢者が多いのにクラブに加入する人が少ない
- ・ 団体の会が何もない
- ・ 地域行事の参加が少ない
- ・ 未婚者が多い
- ・ 跡継がない
- ・ 小学生が少ない
- ・ 若い人が少なくなっている



- ・ 高齢者が多く、子どもが少ない
- ・ 電車本数が少ない
- ・ 自家用車以外の交通手段がない
- ・ 車がないと買物に行けない
- ・ 地域内に歩道がなく危険
- ・ ごみ捨てのルールを守らない人がいる
- ・ 中学生の自転車通学が大変そう
- ・ 熊や猿が出没するので危険
- ・ 変質者が出ることもある
- ・ 雑草が多く、夏に虫などの不健康につながる
- ・ 雪道での通学、毎年苦勞している
- ・ 安全防犯上、通学バスがあると良い
- ・ 電車の便が悪い
- ・ 地域に団地があるが町内標識が少ない
- ・ 雪が急に降った時、除雪が間に合わない所がある
- ・ 交通の便が悪く、車がない人はとても不便です
- ・ 雪道はほんとうに遅くて困ります
- ・ 少子化が進んできている
- ・ 若い人、子どもが少なく人が減っている
- ・ 嫁さん不足
- ・ 食料店などのお店が少ない
- ・ 仕事の職種が少ない
- ・ 引っ越してきた人の顔をあまり見る事がない
- ・ 集落のつながりがなくなった
- ・ 近所づきあいが下手な家庭がある
- ・ 若い人の顔を知らない
- ・ 民生委員さんの不在地域がある
- ・ 通学路の道路側の草が伸びている（空き地）
- ・ 夜暗いのでウォーキングができない
- ・ 子ども達の遊び場が少ない
- ・ 嫁不足、後継者不足





- ・色々な役が回ってきて仕事はかどらず困っている
- ・二人暮らしが多い
- ・一人暮らしが多い
- ・高齢者世帯が多い
- ・子ども達が少なく活気がない
- ・店がない
- ・商店がなくなり困っています
- ・バスが走っていない
- ・若い人の働く職場が少ない
- ・医療機関が少ない
- ・住宅が減ってきている
- ・子ども達が外で遊ばない
- ・小学校が減っていく
- ・バスが1日に三往復しかなく通勤、通学に利用できない
- ・車がないと用事が足りない
- ・医療機関（医師）が少ない
- ・バス停が壊れている
- ・国道沿いなので深夜の車の音が大きい
- ・冬場の通学が大変そう
- ・学区を選ばずコミュニティにならない（小学校）
- ・活断層があるが何をしたら良いか分からない
- ・料理教室等に参加する人が少ない、若い人の参加がない
- ・必要なところにガードレールがない
- ・猫の放し飼い（猫屋敷問題）
- ・近所に猫屋敷がある（外で放し飼い）
- ・子ども（小学生）の登下校、原っぱが多く遠くて心配
- ・子どもの数が少ないので、話し声も聞こえてこない
- ・空き家なのか住んでいるのか分からない
- ・空き家がある
- ・今まで横のつながりのあった高齢者がいなくなり情報が入ってこなくなった
- ・地域全員で集まることがほとんどない
- ・老友会がなかなかできない
- ・高齢者の一人暮らしが多くなり、後を見てくれる人がいない
- ・消雪パイプが通っていない
- ・下水道がない
- ・生活道路なのに大型車が多く進入してきている
- ・用水路の川浚いがうちの担当で大変
- ・地区に歩道の狭いところがある
- ・地域活動に参加しない独身者がいる
- ・消防団員が毎年同じ人、地域の担い手が少ない
- ・遊具がない
- ・子どもをきつく叱る家庭がある（泣き声、どなり声）
- ・高齢者福祉の充実
- ・小学生が少ない
- ・空き家が近くに目立ってきた（手入れができず荒れている）
- ・引きこもりがいるが声をかけにくい
- ・県道を横断するのが怖い
- ・他の地域から孤立している
- ・認知症の母の介護負担が大変だ
- ・働く場が少ない
- ・地域内に商店がなく日常生活用品等の買い物が不便
- ・若い人が出ていってしまう
- ・高齢者が増えて若い人が少ない
- ・昔のような茶飲み話をする場所がない
- ・土日の路線バスがない
- ・プライバシーや個人情報の問題で、深い相談ができない
- ・跡取りがいない家があり、空き家になる可能性がある
- ・適齢期の方がいるが未婚である
- ・団地の斜面の崩れが心配である
- ・一人暮らしの高齢者が目立つようになってきた
- ・日中一人で過ごしている高齢者が多い
- ・地区世帯数が多いわりに小学生が少ない



3 こんな地域であつたらいいな

- ・ 明るい地域
- ・ もっと隣近所で助け合えれば
- ・ 若い人とお年寄りが、もっと話し合いができるといい
- ・ 家同士がみんな仲良くしている
- ・ 若い人が住みやすく地域に根づく
- ・ 日頃の向こう三軒両隣の声かけ
- ・ 小・中学校育成会、老友会、婦人会の活動をより活発にしてもらう
- ・ 地区独自の祭りがあればと思う
- ・ 気軽に地域住民が年代に関係なく声をかけ合える
- ・ 農業の魅力アップ
- ・ 商・工・観光の連携ができるとよい
- ・ 合併前は様々な地域行事があつたが、合併後は減少してきたため地域の交流がなくなってきている
- ・ 子どもがもっと多くいたらい
- ・ 若者、子どもが多くいる地域
- ・ 若い人たちが住みやすい地域
- ・ 人が集まる地域
- ・ 地域行事の参画と参加の増加
- ・ 地域の行事に大勢参加してくれたらいい
- ・ 気楽に身近なところで参加できる事（お茶飲みでも）あつたら良い
- ・ スポーツに関するイベントの開催
- ・ 無料で利用できる公共の施設が増えると良い
- ・ 空き缶等のごみを目にしたら、各自が“拾い”持ち帰るゆとりある地域でありたい
- ・ コミュニティバスを運行して欲しい
- ・ 巡回バスがたくさんあつたら
- ・ 地元出身者の定住
- ・ 地区の行事がだんだん減っているからもっと増えればいいなあ
- ・ 自然を生かした施設（遊び）を作って欲しい
- ・ 若い人や子どもの増加、地域の“活性化”に活躍
- ・ せっかくある社会資源なので活用して頂きたい
- ・ 交通事情の便利性
- ・ コミュニティバスが地区にもあつたらいいなあ～
- ・ 高齢化が進み買物が不便！コミュニティバスが運行すると良い
- ・ 年々、高齢者が多くなり自分で車の運転ができなくなるのでバスが出ていれればいいと思う
- ・ 市内を巡回しているコミュニティバスが地区にも1日数回走って欲しい
- ・ 月岡温泉にたくさんの方が来てくれる地域に！！地域の人も！
- ・ すばらしい温泉に、お客がどんどん来て地域を潤して欲しい
- ・ 何でも気軽に相談してもらいたい（医療・福祉で）
- ・ おせっかい“仲人”がいると良い
- ・ 若い人の働く職場がある地域
- ・ 蛍の住みやすい所であつて欲しい
- ・ 独居老人はいない地域
- ・ バスが定期的に走って通学、通院が便利な地域
- ・ 近くに商店があつて買い物に困らない地域
- ・ 空き家を活用できる地域
- ・ 老若男女が触れ合える場所があつたら
- ・ 全体で何かイベントをやつて盛り上がったらいいなア
- ・ ちょっと困った時に助けてもらえる地域
- ・ 子どもがいっぱいいる地域
- ・ 独身男性が結婚できるイベントがある地域
- ・ 子ども達が増えるような良い方法があれば…
- ・ 気軽に集まる場所があつたら
- ・ もっと話し合いができる地域がいい
- ・ 県立病院のような病院があつたら良い
- ・ よりまとまり（相互理解）のとれた地域
- ・ 地域の役割が明確になるといい
- ・ 声をかけあつてつながりのある社会
- ・ 公共交通が何らかの形で確保されている地域（コミュニティバス）
- ・ みんなであいさつしあう地域





- ・子どもがたくさん増えて欲しい
- ・若い人の実行力
- ・核家族も地域行事に参加して欲しい
- ・近所の人が協力してくれる
- ・医療送迎サービス
- ・猫の条例がないので地域で取り決めを作れないか
- ・公民館わきに桜の木があるので、子どもからお年寄りまで花見ができる行事を計画してみてもどうか
- ・子ども達と高齢者が一緒に何かできる関係
- ・声かけ運動を進められたら良い
- ・あいさつ運動
- ・子どもからお年寄りまで地域とつながりが持てる社交の場所があると良い
- ・住みやすい
- ・若い（15～25歳位の）人が話しやすい環境
- ・隣近所仲良くし、ある程度話してくれたらいいと思う
- ・以前やっていた運動会を再開してほしい
- ・ただでさえ狭い地域なので仲良く
- ・困っている人が「困ったな～」と地域の中で言える地域
- ・お互い会ったらあいさつをかけあう地域
- ・子どもが多く、にぎやかな地域になって欲しい
- ・見守りやお互いの声かけが毎日あったら良い
- ・若い世代が来て欲しい
- ・働く場が増え、若い人（子ども）が多くなるといい
- ・高齢者の方が住みやすい地域であつたらいい
- ・通学路が整備されたら良い



4 私たちにできること

- ・お互いに声かけをする
- ・回覧板を届ける際、声かけをする
- ・自分の仕事で経験した事を伝える
- ・手伝いなら一応何でもできると思えます
- ・独身の人を引き合わせる＝結婚！
- ・近所への声かけ
- ・隣近所に出かけるとき声かけをする（お願い）
- ・近所同士、子どもへの声かけ
- ・一人暮らし高齢者の見守り、定期的な訪問
- ・子ども達には積極的にあいさつをする
- ・進んであいさつ
- ・地域の行事に進んで参加する
- ・地区、地域のボランティアを多くして盛り上げていく
- ・風で飛ばされた「痴漢出没注意」看板の補強
- ・75歳以上の世帯に対し地域の共同作業を免除にした
- ・地区の皆さんで花を道路に植える
- ・現在の状況が続ける 地域活動、趣味等の輪を広げる
- ・行事予定は早めにお知らせする
- ・老若問わず時々集まってグランドゴルフや輪投げ等で楽しむ
- ・高齢者、一人暮らしの方に声かけをする
- ・畑作業を盛んにして農産物を豊かにする
- ・進んで地域の中に出ていきたい
- ・情報交換ができる場に積極的に参加する
- ・学校行事、保育園行事の参加
- ・学校の行事や参観日は、地域の人全員が参加できる！
声かけをする
- ・小、中学生に進んで声をかける
- ・小学校登校時の見まわり
- ・学校や施設のボランティア
- ・放棄地の草刈り
- ・私のふるさと、文化の香りを大切にする
- ・登下校時の見守り
- ・地域で夏にバーベキューをやっている（若者、子ども中心）
- ・写真クラブ・体操教室をやっています
- ・正月に栗柿（くりかけ）年始あり（子ども達へお菓子を配布）
- ・春秋に近所で女性が集まり顔のみえる関係

- ・高齢者の見守り
- ・あいさつ運動
- ・小学校でのあいさつ運動の協力
- ・地域の一人暮らしの人を近所で声かけ
- ・地域と一体となった取組、声かけ等
- ・昔ながらの地域の風習をつなげていく
- ・子ども達へのあいさつ活動
- ・見守り活動
- ・話をよく聞く
- ・フットワークを良くする
- ・困ったことがあれば相談できる
- ・問題があれば地域で話し合い、改善する
- ・声をかけあう、おかしいことがあれば伝え合う
- ・祭りなど地域全員が集まれる場を持つこと
- ・猫の放し飼い、地域ごとに取り決めを作って住民に守ってもらう
- ・地域行事を計画する
- ・道路の清掃
- ・一人暮らしの人をついでに連れて行く（事故があった場合の責任問題が…）
- ・広報配りの時に一声かける
- ・地域のことに関心を持つ
- ・飲コミュニケーションの機会を増やす
- ・地域の中でのあいさつ、見守り
- ・町内への連絡の徹底
- ・一人暮らしや高齢者のみの世帯の見守り活動
- ・即、団結集合できる
- ・高齢者の相談窓口であることの（周知）支援
- ・行事への参加
- ・行政への働きかけ
- ・地域の行事に積極的に参加する
- ・介護予防教室、健康教室を開催する

- ・公共交通をみんなで考える
- ・自主防災活動の推進を行う



豊浦中学校



荒橋小学校



中浦小学校



天王小学校



新発田南高等学校豊浦分校



本田小学校



6 参考資料

「新発田市地域福祉（活動）計画」の基本理念と体系

1 基本理念

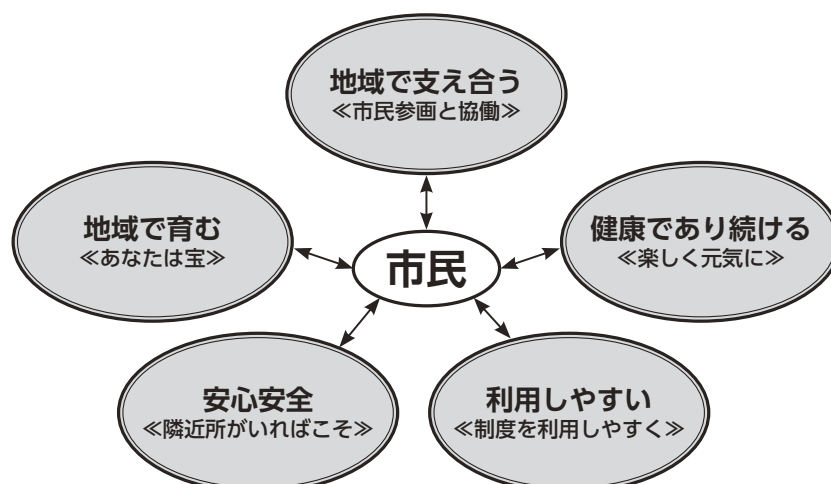
新発田市に暮らす子どもや若者から高齢者までの誰もが、新発田市の歴史と風土を大切に、新発田市民であることを誇りに思う新たな福祉の地域づくりをめざし、新発田市地域福祉（活動）計画の基本理念を次のものとします。

～新発田市地域福祉（活動）計画の基本理念～

すべての市民が住みなれた地域とともに支え合い、
安心して暮らせる福祉の地域づくり

※「出来るものならば、ずっと育ってきた地域で自立して生きていきたい。」 だれもが望む幸せとは、このような当たり前のことではないでしょうか。

地域福祉（活動）計画は、顔の見える一定の地域を面として、「地域の市民力」「地域の資源力」「行政力」という3つの力を活かし、地域に住んでいる住民や地域で活動している民間団体や事業所が、社会生活を送るうえでお互いに支え合うというわかりやすい仕組みを、行政との協働により住民自ら創り、自ら地域の実態に即した活動を展開するためのものです。そのためには、「地域のことは地域で」（下図参照）を基本として、地域に暮らすだれもが笑顔の中に生まれ、自分らしく健康で自立した生活を送り、生きること喜びを見出していける地域社会の実現を目指します。

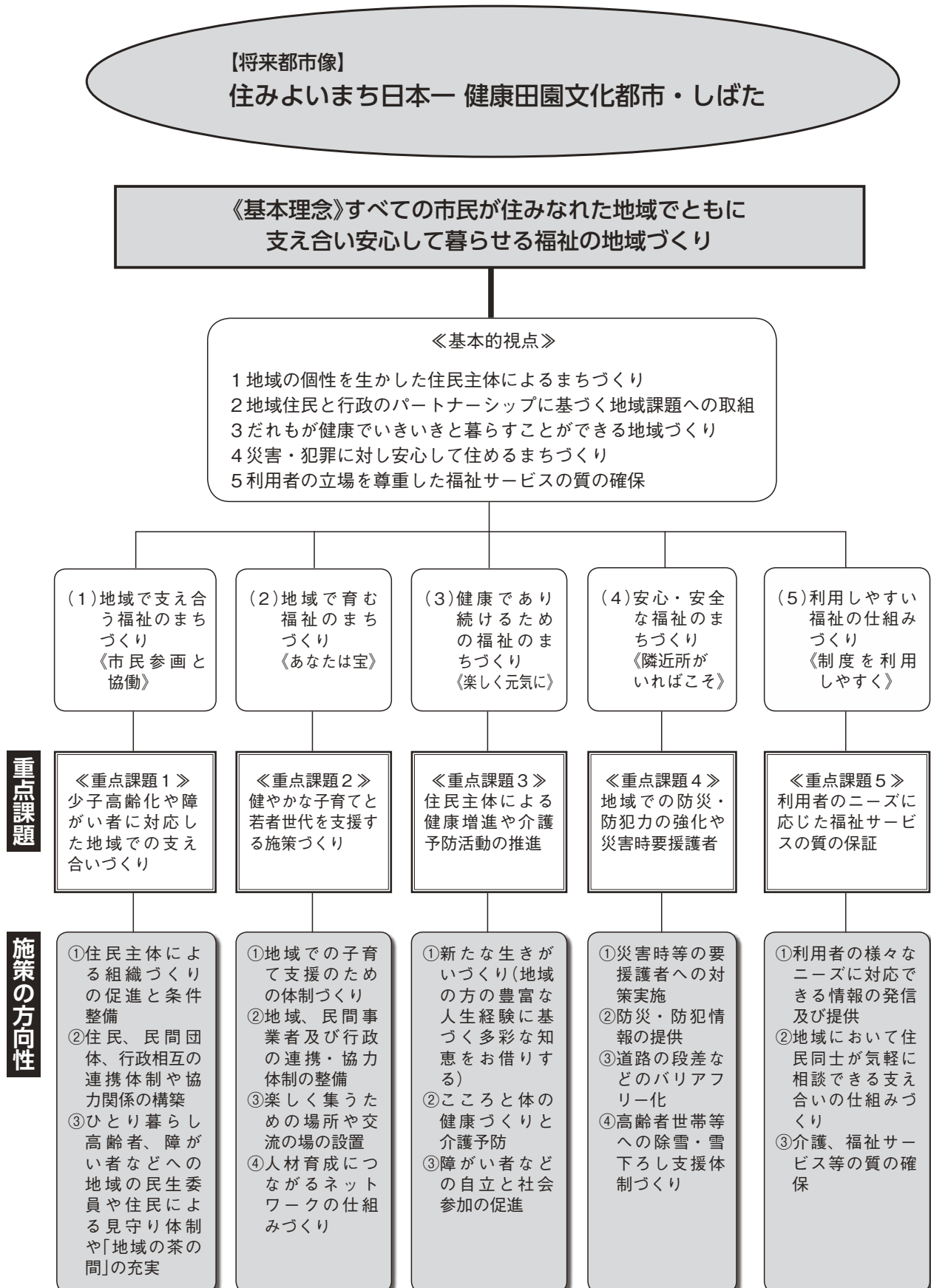


新発田市地域福祉（活動）計画は、地域福祉をより効果的に推進するため、市が策定する「地域福祉計画」と社会福祉協議会が住民とともに策定する「地域福祉活動計画」を一体化して策定したものです。新発田市及び新発田市社会福祉協議会のホームページに掲載されております。

問合せ先：新発田市社会福祉課 Tel 22-3101 新発田市社会福祉協議会 Tel 23-1000

2 計画の体系

新発田市は、以下の基本理念に基づき、それぞれの重点課題について、施策を実施しながら計画の推進に取り組んでいきます。





豊浦地区福祉懇談会

回 覧

第1号 | 平成27年11月2日

誰もが住み慣れた 地域で安心して 生活を送るために

地域の人と人とのつながりを大切にし、お互いに助けたり助けられたりする関係やその仕組みづくりを目指して



第1回豊浦地区福祉懇談会

日 時 平成27年10月6日(火)
会 場 豊浦地区公民館 大ホール
参加者 住民52名
市・社協・包括・豊浦病院19名

- ①開会挨拶
豊浦地区区長会 嶋津会長
- ②趣旨説明
新発田市 社会福祉課
- ③勉強会
新発田市社会福祉協議会
- ④グループワーク
「魅力あふれる豊浦地区を目指して」
- ⑤閉会挨拶
豊浦地区区長会 伊野副会長

福祉活動計画の理解を深め より顔の見える関係に

これからのまちづくりは、子どもから高齢者まで住民の誰もが住み慣れた地域の中で、心豊かに安心して暮らせるような仕組みをつくり、それを持続させていくことが求められています。

そのためには、さまざまな生活課題について住民一人ひとりの努力（自助）、住民同士の相互扶助（共助）、公的

な制度（公助）の連携によって解決していこうとする取組が必要です。

豊浦地区福祉懇談会では、住民や関係団体、社会福祉協議会、行政が、福祉懇談会を通じて、地域の良いところや課題などを共有しながら、住民の行動計画である「豊浦地区福祉活動計画」の策定を目指しています。

豊浦地区福祉懇談会

回覧

第2号 | 平成27年12月1日

**地域のすべての人が
自分らしく安心して暮らし
ていける地域を目指して**

互いに支え合い、一人ひとりが自分たちのできる事を考え、地域福祉の基本的な考え方に基づいて、主体的に参加・協働する地域に向けて



第2回豊浦地区福祉懇談会

日時 平成27年11月11日(水)
会場 豊浦地区公民館 大ホール
参加者 住民48名
市・社協・包括19名

①開会挨拶

豊浦地区区長会 嶋津会長

②グループワーク

- ・ 前回の振り返り及びまとめ
- ・ 地区の現状と課題の整理
- ・ 基本目標の検討
- ・ グループ発表

③閉会挨拶

豊浦地区区長会 伊野副会長

ほっとけないの「気づき」を 伝える仕組みづくり

核家族化や少子高齢化によって「向こう三軒両隣」のような日本の古きよき伝統文化が姿を消しつつあります。

その結果、家族や地域とのつながりのカタチが変化し、地域の伝統文化や郷土愛も薄れ、地域資源が豊かであるにも関わらず継承が困難な状況になっています。

そのため“豊浦地区福祉懇談会”では、より多くの住民

に地域への関心を持ってもらい、顔の見える地域づくりを基盤に「気づき」を伝える仕組みを目指します。

第2回懇談会では、グループごとに第1回懇談会で話し合われた4つのテーマ（地域の魅力・地域課題・これからの地域像・これから取り組めること）の内容を振り返りながら意見などを整理し、会場全体で共有しました。



豊浦地区福祉懇談会

回 覧

第3号 | 平成28年1月5日

地域のSOSを 見逃さない つながりのある 地域をつくる

地域のつながりを実感できるように
身近な地域で福祉活動を活性化し、
新しい地域づくりを目指します



第3回豊浦地区福祉懇談会

日時 平成27年12月9日(水)
会場 豊浦地区公民館 大ホール
参加者 住民37名
市・社協・包括16名

①開会挨拶

豊浦地区区長会 嶋津会長

②グループワーク

- ・前回の振り返り及びまとめ
- ・基本目標の検討
- ・スローガンの検討
- ・グループ発表

③閉会挨拶

豊浦地区区長会 伊野副会長

これからの地域を話し合い 誰もが参加できる取組を目指して

ご近所の助け合いによって支えられてきた人々の暮らしが、生活の孤立化、複合的な課題を抱える世帯の増加、地域での連帯感の希薄化などがすすみ、制度の谷間にあって対応できない課題も多く生じてきています。

豊浦地区福祉懇談会では、地域の住民が主体となって地域での支え合いをすすめる取組を活性化し、住み慣れた地域でこれまでの社会関係を維

持しながら、誰もが生きがいを持ち、地域の社会資源として役割を発揮する地域づくりに向けて力を合わせる必要があります。

第3回懇談会では、第2回のグループワークで話し合われた内容を振り返りながら、整理したキーワードをもとに、豊浦地区福祉活動計画の基本目標やスローガンを検討しました。

豊浦音頭 唄／真咲よう子 オハヤシ／横川裕子 浅野麻里子

作詞／大越昭二 補作詩／たか たかし 作曲／水野昭太郎 編曲／川端マモル



ハァー春の真木山^{まきやま}ヨー
 春の真木山 みどりに映えて
 かわす笑顔の うれしさよ
 花の豊浦 明るい町に
 カリオンパークの 鐘が鳴る
 (ア、チョイト) 鐘が鳴る
 サアサ、みながで ござらっしゃい
 豊浦、よいとこ ござらっしゃい
 (ア、ソレ) ござらっしゃい

ハァー秋は収穫^{みのり}のヨー
 秋は収穫の 豊年太鼓
 ここは越後の 米どころ
 若衆踊れば 娘も踊る
 爺^{じっ}ちやも婆^{ばっ}ちやも どどんとね
 (ア、チョイト) どどんとね
 サアサ、みながで ござらっしゃい
 豊浦、よいとこ ござらっしゃい
 (ア、ソレ) ござらっしゃい

ハァー夏の夕暮れヨー
 夏の夕暮れ 福島^{がた}潟に
 恋のおしどり 水遊び
 波にゆらゆら 想いも揺れて
 漕ぎ出す舟は 葦のかけ
 (ア、チョイト) 葦のかけ
 サアサ、みながで ござらっしゃい
 豊浦、よいとこ ござらっしゃい
 (ア、ソレ) ござらっしゃい

ハァー冬の月岡ヨー
 冬の月岡 湯の町恋し
 お湯に情けの 花が咲く
 雪がつんつん 降りつむ宿で
 かわいいあの娘と 雪見酒
 (ア、チョイト) 雪見酒
 サアサ、みながで ござらっしゃい
 豊浦、よいとこ ござらっしゃい
 (ア、ソレ) ござらっしゃい

豊浦地区編集委員会

No	所属	氏名
1	豊浦地区区長会 (上荒町地区)	嶋津 久志
2	豊浦地区区長会 (上本田地区)	伊野 一成
3	豊浦地区区長会 (大伝新道地区)	山岸 盛三
4	豊浦地区区長会 (佐々川地区)	大倉 裕吏
5	豊浦地区区長会 (池ノ端地区)	木滑 国雄
6	豊浦地区区長会 (乗廻地区)	伊藤 喜男
7	豊浦地区区長会 (福島地区)	木滑 信彦
8	豊浦地区区長会 (月岡地区)	加賀田 勘次男
9	佐々川地区	杉浦 愛
10	二ツ堂地区	渡辺 努
11	大伝本村地区	志摩 眞一
12	豊浦地区民生委員児童委員協議会	橋本 昭一
13	豊浦地区民生委員児童委員協議会	田代 隆子
14	豊浦地区民生委員児童委員協議会	渡邊 文代
15	豊浦地区保健自治会	芹野 米子



— 市島邸 —

～みんなでつながる福祉のまちづくり～

編集：豊浦地区編集委員会・豊浦地区区長会
新発田市・社会福祉法人新発田市社会福祉協議会

発行：平成28年3月
新発田市

〒957 - 8686 新発田市中央町4丁目10番4号
社会福祉法人新発田市社会福祉協議会

〒957 - 0054 新発田市本町4丁目16番83号